

RYUKEI 20 SDGs ACTIVITIES

流通経済大学 20のSDGs 活動紹介

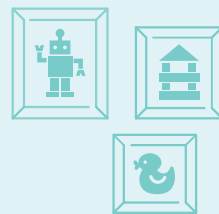
SDGsを実現するためのさまざまな取り組み。
その代表的な例を一挙にご紹介します。

01

海の日アートフェス

新松戸キャンパスで開催する、アートを軸に「誰一人取り残さない」を具現化した地域交流イベント。ワークショップや創作展示のほか、身体表現を含めたさまざまなパフォーマンスがステージで演じられる。

02



トイ&アート

「つくる責任 つかう責任」を念頭に、使わなくなったおもちゃをアート作品へと生まれ変わらせる取り組み。学園祭などのイベントで、地域の親子を対象にワークショップを開催。ランタンづくりやプレートの装飾など、思い思いの想像力を発揮して創作する。

04

食プロジェクト

「食」をテーマにした学生主体のプロジェクト。「海や陸の豊かさ」を知り、「健康と豊かさ」を享受するため、学生たちが生産者や飲食店とともに、地元食材を使ったメニューを開発。マーケティング×観光×健康の「実学」を通して、地域とのつながりを生む。

05

であうアート展

千葉県成田市の障がい者支援施設「生活工房」のアーティストの作品をキャンパス内で展示。アーティストと交流した学生が来場者の案内や作品の解説を行い、その魅力を伝える。

06

障がい児交流

地域で開催される子ども向けイベントの企画・運営の一部を学生が担当。障がいの有無にかかわらず多様な子どもたちと関わることで、保育や福祉の学びを深める。

07

視覚障がい者誘導マット設置

地域に開かれた大学として、学生だけでなく誰でも、トイレなどの大学内施設を利用できるよう設置。表面に凹凸がないバリアフリーのマットで、目的地まで安全に誘導。

09



RKU commons

大学に「行きづらさ」を覚えたり、キャンパス内に自分の「居場所」を見つけられない学生を主な対象に、「家でも大学でもない第3の居場所」を設ける。カフェや学外にサテライトを設け、イベントや地域交流の場としても活用する。誰もが入ることのできる現代版「原っぱ」。

10



市民向け 読み聞かせ教室

「アート」を軸にした地域連携の一つとして「声」の持つ力に着目。プロのアナウンサーを講師に迎え、子どもたちをひきつける朗読方法を伝授し、実際に子どもたちと保護者に絵本を読み聞かせるクラスを実施。「住み続けられるまちづくり」の一步。

08

救命法レクチャー

スポーツ健康科学部の学生たちが龍ヶ崎市内の小・中学校を訪問。子どもたちとコミュニケーションをとりながらAEDの使い方などの救命法を指導する「すべての人に健康と福祉を」もたらすワークショップ。

12

運動×防災教室

スポーツ健康科学部の学生と茨城県防災・危機管理課がタッグを組んで教室を運営。龍ヶ崎市の高齢者が、防災学習と同時に学生の指導でストレッチや筋トレを行い、健康増進を図る。

13

龍ヶ崎市防災シンポジウム共催

龍ヶ崎市内で起きた小貝川水害の教訓を、高校生世代につなぐシンポジウムを開催。地元の高校生による発表のほか、NHKアナウンサーらが登壇し、「住み続けられるまちづくり」に向けて災害への備えを再確認。

14



陸上競技部・駅伝チームたちによる 「Run Run Curry Expo ～松戸市を食べて走ろう～」

スポーツマーケティングを学ぶ学生たちが、松戸市民向けのランニングイベントを企画。流经大陸上競技部・駅伝チームのメンバーたちが、参加者のランニングフォームを指導したり一緒に走ったりした後、地元食材を使ったオリジナルカレーを楽しんだ。「すべての人に健康と福祉を」もたらすために、学生も企画から参加し実施。

15



松戸市との 共生プロジェクト

共生社会の実現を目指す松戸市と共催。市民の居場所づくりに取り組む団体や障がい者チアリーディングの指導者などが参加してシンポジウムを実施。「ポッチャ」や留学生による「バンブーダンス」体験会、特別支援学校の生徒たちによる販売会なども行った。

16

「ジェンダーレス」トイレの設置

「トイレは授業を抜け出して行く」というLGBTQ+の学生の一言から、いつでも誰の目も気にせずに入ることができるトイレをオリジナルな発想で設置。

17

狭山茶プロジェクト

ビジネスマーケティングを学ぶ学生たちが埼玉県の名産品狭山茶をPR、「産業と技術革新の基盤づくり」に挑戦。地域活性化も兼ねたプロジェクトで、地元企業と連携し、レストランの企画やプロモーション活動などに取り組む。

18

聴覚障がい学生支援

聴覚に障がいがある学生への支援として、研修を修了した学生（ノートテイク）が、授業中に教員が話す内容や教室内の状況を文字にして伝える「要約筆記」を行っている。

19

LGBTQ+研修

「性の多様性ってなんだろう?」という疑問から始まった職員対象の研修。実例や卒業生の声をもとに意識改革を進める。「誰一人取り残さない」キャンパスづくりへのはじめの一步。

20

FFFR = Fridays For Future RKU

学年・学部を超えて集った学生たちが、SDGsを通して未来を考える活動。2019年9月開始以来150回以上開催。対話を重ねながら、ともに考え、well-being = 健康、幸福な未来を創る。